

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム尾西蓮池の家
(ユニット名)	1号館
所在地 (県・市町村名)	〒494-0019愛知県一宮市蓮池字郷東20-2
記入者名 (管理者)	(藤田う月) 原まりも
記入日	平成20年10月21日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けられるように支えていくサービスとして作り上げた理念。	優しく、おだやかに静かな介護を目指します。(理念)
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	管理者と職員は定期的にミーティングを行い実践している。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族や地域への理念の浸透を計るため、季節の行事開催、地域の行事参加するよう努めている。	蓮池だより、3か月に1度、管理者が毎月1度、家族へ便りを出している。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的な付き合いが出来る様、努め気軽に立ち寄ってもらえる様、あいさつ・言葉かけに心掛けている。	近隣の方に季節の野菜を頂いたり、作物の作り方などがったりしている。いただくだけでなく、お返しも必ずしている。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の中学校とそれなりの交流会を持ち、お祭りも、大人のお祭りなどと交流している。	子供会のお祭りに協力、大人のお祭りにも協力している。こうのみやのおさがりの大きいお餅とかてぬぐいが届きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	市及び病院からの身寄りのない利用者・生活保護の方々を関連施設に何人もお送りしている。独居の方への訪問・プレゼントをしている。		今後も一宮市の困っている方々に、支援の手を今までどおり、差し伸べて行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全食手作りの食事を提供している。身体拘束を一つでもなくす様、日々話し合い、工夫しています。車椅子・安全ベルトが2人改善されました。		胃ロウの方ではずしてしまう可能性のある方は、やむを得ずつなぎを着ていただいているが、安全ベルト等、一つでも身体拘束をなくす様、日々の努力を欠かしません。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今回は看取りの方が96歳になる人ですが、8/25におくりました。この方の件で市の方と直接会議を持ち、理解をお願いしました。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	常にしに相談して推進会議を活用させてもらい、具体的に色々な報告が来ています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度は、二つの家族が実施しましたので、ご協力させてもらいました。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士日々、確認しあい注意を払い、防止に努めている。		トラブル等、起きないように常にミーティング等行い、職員同士の声を聞きあっている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の折には、十分な説明を行ない、納得していただきサイン・印をいただいている。</p>	<p>今まで契約等のトラブルはありません。時間を取り、十分な説明を行ない納得していただいている。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ちょっとしたお願い程度はすぐ実施して、その前に不備のないように配慮して常に御家族との信頼関係は保つよう努力している。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>1か月に1回、蓮池だよりを送り、事ある人にはこまめに電話で報告したり了解を取ったり訪問をしたり、信頼関係を保つ努力はしている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>訪問時、管理者と話をするとき色々と良い事を認めてもらっている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>常にミーティングをしてスタッフの意見を聞いて小さな意見も逃さない。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>レベル低下により食介・入浴介助等、人材の補充をしている。常に話し合い緊急の折は残業手当をお願いしている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>できるだけ、ダメージのないようミーティングをして利用者さんに話をして対応している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内の研修は必ず受けている。ベテランの方々の介護に対する教えもこうむっている。知識は若い人に覚えてくださいと伝えている。	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同じグループ内での交流はあり、花火大会・敬老の日のお弁当等もお互いに協力している。	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	カラオケの好きな方とはカラオケを楽しむ。食事会も管理者の出費により行っている。	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	常にミーティングを持ち、全員のスタッフに色々な話が届くように心掛けている。思っていることは言ってもらうように努力している。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	スタッフが心掛けていて利用者さんの要望を聞いて、外のカラオケに行ったり買い物に行ったり電話をかけてもらったりしている。	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	訪問時及び相手の要望が分るのでいろいろな点について話し合いを持ったり報告をしています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリの支援を受けている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	身体能力の低下において本人の希望もあったりして行っている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、日々の暮らしの中でお互いが協働しながら、おだやかな生活が出来る様配慮している。		利用者と談笑する時間を取ったり、歌などを共に歌い、その中から利用者と職員がよりお互いのことを分かり合える様にしている。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族がホームに来訪された時など、邪魔にならない様、何気なく話に入り、日々の様子や職員の思いを伝え、本人を支えていく為の協力を得ている。		必ず見えなくなるまでお見送りし、利用者も見送る事が出来る方は一緒に見送っていて三者の間の和みを保つようにしている。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	レベル低下により、外出・外泊される方は少ないのですが、心優しく交われるよう、場を保ち日々の暮らしぶりをそれとなく話をしている。		電話・手紙等で報告している。当ホームで宿泊していただけるという事も可能という事も知らせている。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの知人・友人等が会いに来てくれたり等、交流できるよう支援している。快く接し、又来てくださるよう挨拶をする。		友人等、来てくださったときなど、又、来てくださる様、快く接している。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に話をしたり、間に入ったりし、利用者同士の関係が円滑になるよう、働きかけをし、どうしても合わない人がいた場合は工夫して居室がえも行っている。		利用者同士で関わり合い支え合える様、働きかけている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	電話があり、鯛を釣ってきたからと取りに行き、ホーム内で利用しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で声掛けや言葉や表情から、利用者の真意を察し、耳を傾ける様に努めている。		暮らし方の希望の把握に努め、困難な場合は本人本位に努めるよう、検討している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人自身から昔の話を、日常の会話から聞いたり、家族・知人の訪問時に少しずつではあるが把握に努めている。		それぞれの職員が話から聞き取った事を全ての職員の情報共有に努めたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者との関係を日々深めながら本人の求めている事等、全体の把握に努めている。		利用者、一人一人の可能性を探り出し、少しでも伸ばすように努めたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく日々暮らせるように家族・本人等の意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		楽しい事、やりたい事等、利用者の立場に立った介護計画を検討している。家族の希望で訪問マッサージも受けている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況、利用者の反応や効果を評価し、状態変化や状況で見直しを行っている。		現状に即した計画を作成している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の介護記録を記入し、変化があるときなど、特に注意し記録。情報を申し送り情報を把握している。(日々の状況、夜間時の申し送り等活かしている。)		介護計画の見直しに活かしていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況に応じて通院などの支援対応している。		通院・入院時の準備などの対応、入院時の洗濯等の対応も続けていく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が安心して暮らして行ける様に地域推進委員会を開いて、民生委員等と意見交換している。		消防活動にも力を入れていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	運動会・お祭りなどの行事への参加をしている。レベルに応じて他のサービスも利用し支援している。		その時のレベルに応じ、家族とも話し合い、他のサービスも利用できるよう、支援している。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	市とは連携あり。会議には又は消防会に参加。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の希望医を受診している。ホームDr(内科医)良心的で月1回以外にも状況により往診可能。日々協力していただいている。		本人・家族が希望するかかりつけ医を通院介助する。場合によっては、家族にも協力依頼している。



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門病院の協力を得て、その病院の訪問看護も受けている。定期的に受診したり、訪問看護の人達と相談もしている。		月一回の受診、週一回の専門病院からの訪問看護もこれからも受ける。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	朝・夕のバイタルチェックを記録し、体調の変化にいち早く、気づくようにしている。変化があった場合、ホームドクターと相談しつつ対応している。		看護師がインシュリン等、対応している。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院と許可が出た場合、早期退院(翌日午前中)をお願いし、迎えにいつている。一日おきに様子を見がてら洗濯物を取りに訪問するようにしている。		管理者に入る情報を伝え、早期の退院(翌日)を行い、職員と管理者で退院の対応を行っている。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	おだやかに暮らしながら、レベル低下の利用者に対して、どう対応していくか、家族・医師の元、職員同士話し合い支援している。		ターミナルケアを行い、その間ご家族・医師と常に話し合い、相談し、最後まで支援しました。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアを行いました。常に家族と主治医も含め、対応について話し合いました。二ヶ月近く、毎日点滴へ通い、対応した。		家族の思いを組んで、やれることは全て行いました。食事についても少しでも口から摂取できるように工夫し、対応した。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	次の居所へ移る場合、利用者には負担がかからない様、今までの生活等、詳しく記録に残し、引き継ぐようにしている。		本人には、移ることをしっかり話し、移る際には馴染みの職員が付き添うようにしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人一人の誇りやプライバシーに気配りし、最善の対応ができるようにしている。	秘密を保持している。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者一人一人に合わせた説明をしたり、他の利用者との交流を促し、会話が弾むよう、職員が支援している。	利用者一人一人に合った生活介護、支援を提供できるよう、職員の意識向上を心掛ける。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・入浴等の時間などの基本的なことはあるが、利用者のニーズに合わせ、支援対応を心掛けている。	外出や買い物等、外での活動についても、希望に添って対応を行っていききたい。カラオケ支援・喫茶店へも行っている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣服の選択は基本的に本人の希望で行っているが、見守りながら手伝うようにしている。理・美容は移動理美容車を利用している。	汚れる事の多い利用者は、その都度着替えるように声掛けをしたり、着替えを手伝ったりしている。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食、手作りの食事を作り利用者も楽しみながら、笑顔で食事をされ、後片付け・テーブル拭きも声掛けしながら手伝ってもらっている。	カロリー等にも気をつけ、喜んでもらえる様な食事作りをして行きたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	出来る限り、利用者の好物を食べてもらえるよう、支援している。	コーヒー・すし等、本人の希望により提供している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	パット使用の利用者には、声掛けしトイレ時に交換していただけるよう、声掛けしている。		パット使用の方でも自分でトイレへ行き、排泄をされている。(チェックシートに記入) オムツの方も、時間は決めてはいないが定期的に支援している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	要介護者については曜日を決めて、実施している。リフトの設置により、立つ事の出来ない利用者も入浴がゆったりのんびり場につかれる様に支援している。		一人一人の希望やタイミングに合わせてゆったり、のんびり湯につかれる様に出来る限り支援して行きたい。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、夜しっかり眠れるようにしながら無理をせず、一人一人の体調・気分により昼寝など適度に行っている。ソファの居眠り等は自然に対応している。		夜間、安眠が出来ない、昼夜逆転の利用者の原因を見極められるように時間を持てるように取り組みたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活の色々な場面で一人一人の力を発揮してもらえよう、出来そうな仕事を頼み、その都度、お礼の言葉を伝えている。		週に一度の喫茶店の外出支援を続けて行き、テレビもつけているが、常に音楽のある生活を支援している。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	おこづかい、事務所の方で全員の方を預かっているが、自立のほうでほしいものがあれば、一緒に買い物にも出かけている。		自立の方など、洋服等買う物があれば一緒に出掛けられる様に支援して行きたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日、夏の涼しい時間等、夕涼みをしたり洗濯物など一緒に取り込んだり支援している。		週一回の喫茶店、不定期ではあるがカラオケへ行くよう、支援している。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の協力を得ながら支援している。花のシーズンには遠出をしたり近くへ行ったりと外出している。春は特に外出が多い。		「行ってみたい」「〇〇へ行きたい」と思えるような雰囲気作りを大切にしたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に応じて日常的に電話や手紙を出せる様、可能な限り支援している。		ご家族等と話し合い、外部の人達とコミュニケーションが取れるようにしたり、利用者が取りたいと思うような働きかけをしたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間などは定めておらず、24時間訪問して頂ける様、声掛けし気軽に訪ねていただけるような雰囲気作りを心掛けています。		訪問者が来られた時、帰られる時には、又、訪問したいと思っただけの様、心からの挨拶をしている。車が見えなくなるまでお見送りをしている。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	共有意識の基に、身体拘束のないケアを目指している。一人一人拘束をなくす様、日々努力している。		安全確保の為、やむを得ず家族の了解を得て、使用する場合もあるが、常に身体拘束を行わないケアを考え、取り組んでいきたい。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が外出しそうな様子を察知したら、さりげなく声掛けしたり、広場まで一緒について行き、畑などを見たり、自由な暮らしを支えるよう支援している。		気候がよく天気の良い日には、外気浴が出来るように環境を整えている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は作業を行いながら利用者全員の状況を把握するように努めている。夜間の休息は居室の見渡せるホールのソファで休むなどし、安全に配慮している。		ホーム内の1～3号館居室等、自由に行き来しその都度、職員は所在の確認しているが、更なる目配り・心配りを実行していきたい。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況を見ながら保管・管理が必要な物(包丁・ハサミ等)は、危険のない様、鍵のかかる所へ保管している。		利用者それぞれの危険要因の把握に努め、解決策をしっかり職員で話し合うようにしたい。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	インシデントが起きた時には、速やかに報告書を作成し、今後の予防対策について検討し、共有意識を図っている。		再発防止の為の対策検討に取り組んでいきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ミーティング等でほとんどの職員が応急手当や初期対応の知識を持っている。看護師にも聞いて行っている。		知識のある人が教えたり、みようみまねではあるが、やってみたり教えたりしている。自信を持って行える様な取り組みをしていきたい。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に関する具体的計画を立て、定期的に非難・救出など、必要な訓練実施している。テレビ・ダンス等固定している。		逆に民生委員さんにも何かあれば、ここを使用してくださいと伝えてある。(オーナーの許可を取っている)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご家族とコミュニケーションを計り、利用者の現在の状況等の把握をしていただいたり、信頼関係を築けるよう努めている。		常にご家族と相談し、リスクに対して安心できるよう、おこりうる事も事前に話をするようにしている。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタルチェック、午後の体温を計り、申し送りノート記録を参考にして、早朝の体調の変化、異変の発見に努めている。		管理者に報告し、看護師と相談し対応している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の袋には必ず本人の名前を記入し、誤薬のないよう確認し、本人に手渡しし服薬を確認。症状の変化の確認を怠らないように勤めている。		職員全体で薬の目的や副作用について理解を深めていく様、努めている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	飲食物の工夫をしたり、水分摂取の量を増やしたり工夫している。運動・ラジオ体操などの参加を促し予防に努める。		できるだけ自然排便が出来る様、水分・食事・運動等の工夫に取り組んでいる。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必要に応じて介助をしている。就寝前には義歯洗浄を行っています。		うがい等、声掛けしてもなかなか、吐き出せない利用者もいるため、職員が話し合いよりよい口腔ケアが出来るように努めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人に合った食事形態・量を考慮し、バランス・カロリーを考えながら、提供している。デザート等も付けている。青物・野菜は豊富にとっている。		摂取カロリーや水分摂取量・栄養バランスを記入し、一日全体を通じておおよそではあるが、把握する様にしている。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は毎年行い、感染症のキャリアの有無を診断書で確認し、未然に防ぐ工夫をしている。年1回の健康診断も主治医の元、行っている。		手洗い・うがい励行。感染症に対する予防や対応の取り決めがあり実行している。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・ふきん等、定期的に漂白し、清潔に心掛けている。食材も決まった日に注文をし、届けてもらっている。		食器乾燥機を使用している。食材は必ず火を通すようにし、衛生管理をしっかり行っていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花など植えてあり、アットホームな感じになっていると思います。		家庭のような空間になっている。(玄関には、いただき物の野菜等がおいてある)
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの飾り付けや花などは、たやさずにして利用者の家族の切り絵も飾ってある。玄関には季節ごと(ひな人形等)飾るようにしている。		フロアには植物を飾り、少しでも華やいだ空間を作るように取り組んでいる。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、ソファが3台あり利用者の方が、各々好きな場所で過ごせ、他の利用者と談笑できるスペースがある。		居室にテレビ等ある方もあるが、フロアで共に過ごせる様にテレビやCDなど聞けるようにしている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使用していた物品を持ち込まれ安心して生活していただけるようになっている。		家で使用していた家具など入居時に搬入し、居心地よく過ごしていただき、何も無い方には施設の方で用意している。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	トイレ・汚物室には消臭剤を置いている。朝には可能な限りフローア又は居室の換気をし、様子を見ながら温度調節をするようにしている。		少しでも気持ちよく過ごして頂ける様、エアコンは常に使用し、気温に配慮している。
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止の為、段差のない施設で手すりを配置し、安全確保を工夫している。		ホームが平屋建てで、3ユニットから出来、バリアフリーとなっている為、利用者が他のユニットへ自由に行く事が出来、日常生活を維持・向上出来る様にしている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のADLを職員を把握し、何が出来、何を援助すれば良いか見極める事によって、自立支援の見極めをしていく。		今まで以上に一人一人の思いを聞き、安心して過ごして頂ける様、話し合いながら良い環境を作っていく。
87	○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	施設の前に広場があり、元気の良い日には(季節にもよるが)朝、外気浴・ラジオ体操を出来る限り行っている。		イベントの折、踊り等ボランティアの方々が支援していただき、楽しんでいる。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者の
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいの
	<input type="checkbox"/>	④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="checkbox"/>	①毎日ある
	<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度ある
	<input type="checkbox"/>	③たまにある
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input checked="" type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input checked="" type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
	<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族と
	<input checked="" type="checkbox"/>	②家族の2/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	③家族の1/3くらいと
	<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・毎日の体操と歌など歌い、楽しんでいる。 ・各季節で必ず花見などに出掛けている。 ・行事（敬老の日・ひな祭り等）踊りのボランティア・  
 手作りの特別弁当を作っている。夏の花火の日には外でバーベキューをし、花火を見て楽しんでいる。 ・ターミナルケアも行い、ご家族の気持ち等、その時その時、ご  
 家族の気持ちを第一に考え、職員全員が最後までより良い対応が出来るように努めました。 ・胃ロウの方も3名、食介の方等、だんだん増えてきましたが、口からの摂  
 取を少しでも多く摂取していただきたいので、日々、職員同士が話し合い取り組んでいます。